

未来に伝える地域の「宝」

～五しの里の村づくり「響け佐治谷ばなし」～

鳥取県佐治村



国民文化祭・夢フェスタ鳥取「はなし in 佐治」。全国 10 府県が参加。(はなし)



佐治石は日本銘石の一つ。見事な配置の「黎明の庭」。(いし)



二十世紀梨を中心に赤梨・洋梨など老若男女問わず生産に精を出しています。(なし)

事例の概要

- 佐治村は、「はなし(話)」「わし(和紙)」「ほし(星)」「なし(梨)」「いし(石)」の末尾の文字をとった「五しの里」をテーマに村づくりを進めている。
- 佐治の民話「佐治谷ばなし」の「笑い」の部分の山間地域の不便さ等と重ね合わせていたが、ユーモラ

スな教訓を込められた笑い話として再評価し、「地域の誇り」までに築き上げた。

- 民話をめぐる多角的な取組みは、住民(個人)・地域(集落)・行政の3者の協働によって、成り立っている。

評価のポイント

佐治村は、「はなし(話)」「わし(和紙)」「ほし(星)」「なし(梨)」「いし(石)」の末尾の文字をとった五「し」の里をテーマに村づくりを進めている。「わし」は因州和紙、「ほし」は夜の星、「なし」は特産品である二十世紀梨、「いし」は日本三大銘石である佐治川の石を指している。

残りの一つである「はなし」とは、いつの時代ともなく、住民の生活文化として語り継がれてきた、ユーモラスな教訓も込められた笑い話「佐治谷ばなし」である。ユーモアいっぱいの短くて明るい民話であり、古くから親から子、子から孫へと語り継がれ、岡山県や兵庫県の一部も含めた周辺地域でも親しまれてきた。一時期、愚か話ということで村人にとっては劣等感と結びつくものであったが、昔の庶民が生活をとともにした文化遺産であり、大切な家庭のしつけ、戒めを持ったたとえ話でもあるとの認識も生まれ、昭和48年に佐治村文化財協会が当時存続していた78話を採話し

て収録した冊子「さじだにばなし」の正しい理解を広げ、そのめくもりを後世に語り伝えたいと、昭和49年8月、江戸時代末期に建てられた茅葺きの民家を移築して「民話の館」を整備し、平成10年秋、村民有志による「さじ民話会」が発足した。ここを拠点として語りの活動を行い、また、最近では「佐治谷ばなし」の狂言ライブを行ったり、CDを制作するなど、新たな活動にも取り組み、広くPRを行っている。

このように、「負の遺産」とされていた民話を、地域の「宝」として発掘し、さらに「地域の誇り」までに築きあげた点は、誇りの空洞化への対抗という過疎地域自立が成立する一つの条件形成のプロセスを見事に示している。また、その主体が個人(公民館主事、民話の会)、地域(集落単位の郷土芸能保存会)、行政という3者の一体的な活動である点においてモデル性をみることができるということが評価された。

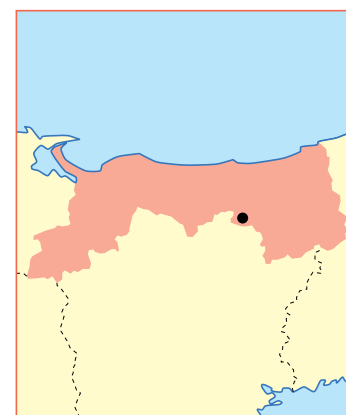


オリジナルな作品にチャレンジできる紙すき体験。(わし)



さじアストロパーク内。103cm反射望遠鏡の大きさは間近で見ると大迫力！(ほし)

鳥取県 佐治村



国勢調査人口

昭和35年	昭和45年	平成2年	平成7年	平成12年
4,986	4,057	3,379	3,127	2,835

増減率

H12/S35	H12/S45	H7/H2	H12/H7	高齢者・若年者比率(H12)	
△43.1	△30.1	△7.5	△9.3	高齢者比率	32.6
				若年者比率	13.1

交通のご案内

- 自動車 中国自動車道作用ICから国道53号経由195分
- 電車 JR因美線用瀬駅からバス20分
- 飛行機 鳥取空港から自動車50分

団体連絡先

- 名称 鳥取県佐治村
- 所在地 〒689-1313 鳥取県八頭郡佐治村大字加瀬木2519-3
- 電話番号 0858-88-0211(総務課)
- URL <http://www.vill.saji.tottori.jp/>